









マレーシアの民族と言語

民族:多民族国家

- マレー系: 70%

- 中華系: 20%

- インド系: 7%

- その他: 3%

言語

- 公用語: マレー語
- 中国語 (北京語, 福建語, 広東語・・・)
- タミル語 (インド系)
- 英語

マレーシアの州



建設産業史研究会

ASEAN Member Countries

マレーシアの基本情報

首都: クアラルンプール

国土面積:330,803 km²

人口: 3,172 万人(2016)

1人当りGDP: 9,501 米ドル (2015)

(同上日本) 32,477米ドル (2015)

マレーシアの民族



フキティンギ Bukittinggi

西スマトラ





マレーシアの民族

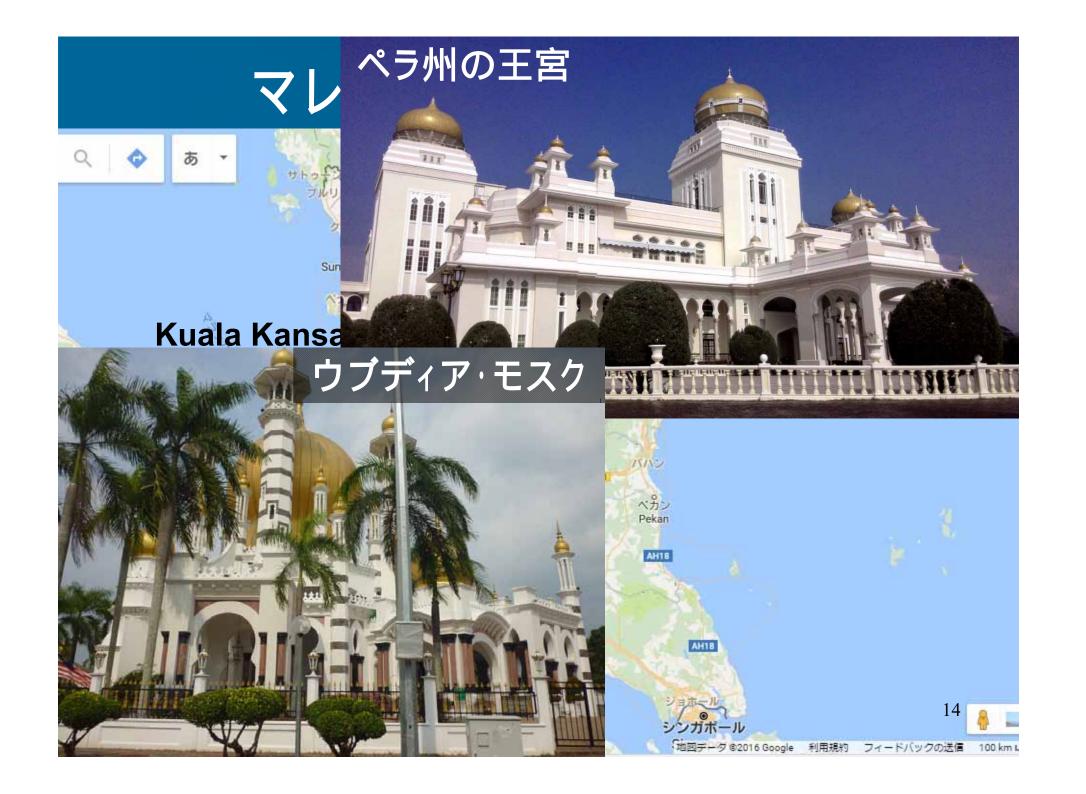


マレーシアの観光スポット Wall art (George Town) George Town

マレーシアの観光スポット







マレーシアの観光スポット



マレーシアの料理















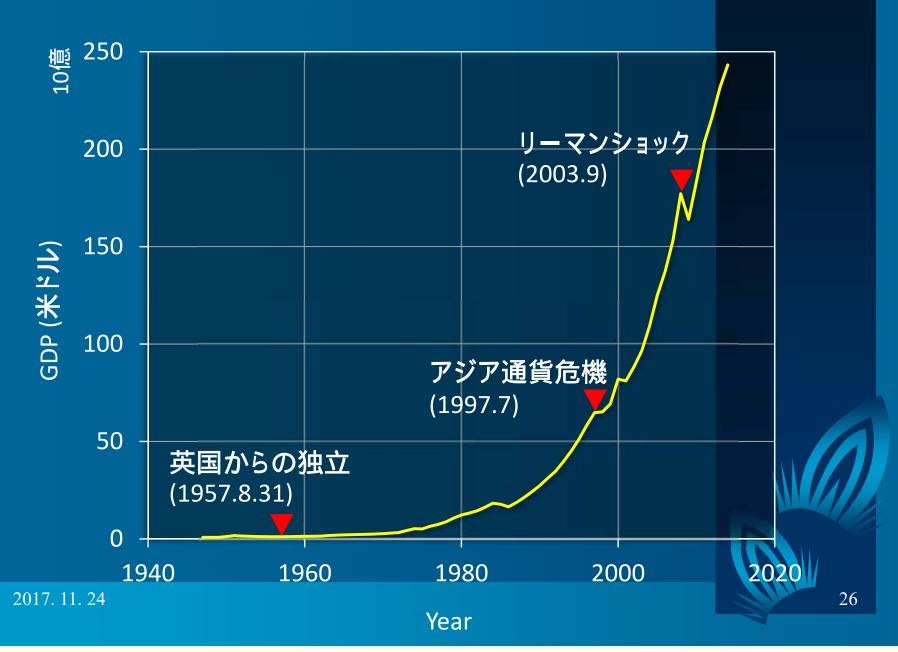


マレーシアの果物

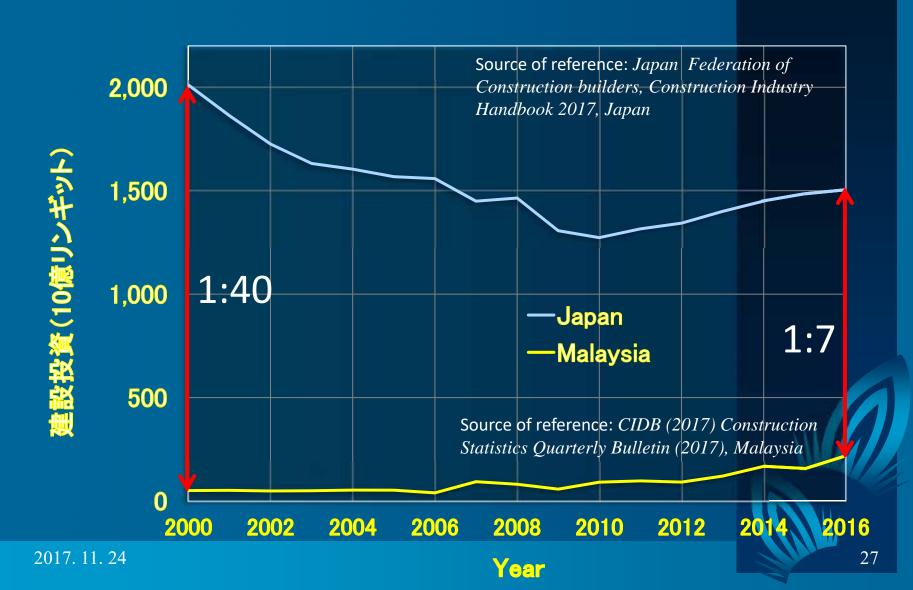




マレーシアにおけるGDPの変化



マレーシア・日本の建設投資の比較



Construction in Asia



マレーシア経済の現状

- 2020年先進国入りを目指し、年5~7パーセントの経済成長を続けている。
- マレーシアの1人当たりのGDPはUS\$ 9,500を超え、 シンガポール・ブルネイを除けば、ASEAN第一位。 (日本: US\$ 32,477) (2015年統計) [注1]
- The 10th Malaysia Plan (2011 2015)

[注1]世界の一人当たりの名目GDP (USドル)ランキング, Available at: http://ecodb.net/ranking/imf ngdpdpc.html, [Accessed 18 January 2017]

12の優先的な基幹産業分野

クアラルンプールとクランバレー開発に加えて11の基幹産業分野を重点化 オイル、ガス エネルギー 資金サービス クアラルンプールと 観光 クランパレー開発 NKEAs: 11 の重点産業分野 卸·小売 ビジネスサービス クアラルンプールと クランバレー開発 エレクトロニクス 農業 と電気 コミュニケーション・コンテンツ とインフラストラクチャー パームオイル

マレーシア経済の現状

- 2020年先進国入りを目指し、年5~7パーセントの 経済成長を続けている。
- マレーシアの1人当たりのGDPはUS\$ 9,500を超え、 シンガポール・ブルネイを除けば、ASEAN第一位。 (日本:US\$ 32,477)(2015年統計)
- The 10th Malaysia Plan → Construction Industry Master Plan 2006-2015

 Vision: マレーシアの建設業はワールドクラスの革新的で知識集約的なグローバルな問題解決型企業 (solution provider) を目指す。

建設業マスタープラン 2006-2015 7つの戦略

- 1. 建設業の価値連鎖の統合による生産性の向上
- 2. 建設業のイメージ向上
- 3. 品質、安全・衛生の改善と環境活動の推進
- 4. 建設作業者の育成と能力開発
- 5. 研究開発による革新と新技術の導入
- 6. 情報・コミュニケーション技術による改革
- 7. 海外進出によるグローバル化の利益獲得



Construction Industry Transformation Programme (CITP) (建設業変換計画)

ナジブ首相は CITP (建設業変換計画)を立ち上げ、 2020年までに建設業の体質強化を提唱 (2015.9)

CITP to transform the construction industry before 2020

T K Letchumy Tamboo, Astro Awani |
September 10, 2015 18:30 MYT



NAJIB: Each of the four strategic thrusts seeks to transform and improve public and international image of the industry. - BERNAMA Photo

KUALA LUMPUR: Prime Minister
Datuk Seri Najib Razak today
launched the Construction Industry
Transformation Programme (CITP),
the country's last five year plan for the
construction industry before 2020.

Najib said the CITP, which is part of the 11th Malaysia Plan, aims to ultimately create construction industry players that are sustainable at home and are able to compete in the International arena.



CITP (建設業変換計画)

- (1) 品質・安全・職業意識の向上
- (2) 環境の持続性
- (3) 生產性向上





工事現場の例





工事現場の例



工事現場の例



仕上済み







1. 20の国公立大学と、53の私立大学、11の外国の大学のマレーシア校がある。



1. 20 の国公立大学

Universiti Malaya (マラヤ大学), Universiti Kebangsaan Malaysia、その他

53 の私立大学

Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR), Universiti Sunway, その他

11 の外国の大学のマレーシア校

Universiti Monash Malaysia (Australia),
Universiti Perubatan Newcastle Malaysia (UK),

その他

日本の大学

1. 154 の国公立大学 東京大学、京都大学、・・・ 首都大学東京、北九州市立大学、・・・

601 の私立大学

早稲田大学、慶応大学、同志社大学、・・・

10 外国の大学の日本校 テンプル大学日本校(米国) レイクランド大学日本校(米国)、・・



- 1. 20の国公立大学と、53の私立大学、11の外国の大学のマレーシア校がある。
- 2. 国立大学は、ブミプトラ政策 (マレー人の経済的・社会的地位向上のための優遇政策) によりマレー人の学生比率が圧倒的に高い。
- 3. 国立大学では、授業がマレー語主体で行われ、入学基準である全国統一試験もマレー語。
- 4. 私立大学は、施設の充実度や授業水準によって、(1) University, (2) University College, (3) College に分類される。

- 5. マレーシアの大学の入学時期は年間2~5回。UTARの場合、1月、5月、10月の3回。
- 6. 通常、3年で卒業。工学系 (Engineering) は4年。教養課程は Center for Foundation Studies:1年
- 7. マレーシアの大学進学率は 26% (日本 63%)[注2]
- 8. Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR) は私立の大学 (中華系マレーシア人を対象) 拉曼大學

[注2] グローバル・ノート: 世界の大学進学率 国際比較統計・推移, 2016.6, Available at: http://www.globalnote.jp/post-1465.html, [Accessed 21 July 2017]

- 9. 学部の学位は、以下の3つ
 - (i) Diploma: 日本の短大卒に相当
 - (ii) Bachelor: BA: Bachelor of Arts (文学士)

BSc: Bachelor of Science (理学士)

BEg: Bachelor of Engineering (工学士)

(iii) Hons (Honours Degree):優等学位 Bachelorよりワンランク上位



Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR)



Home

About UTAR

Faculty & Admin Students

Alumni Partners

Media, News

& Publications

Contact UTAR

Search

SEARCH

Admissions & Financial Aid ▼

Programmes ▼

Research ▼

Facilities & Resources ▼

International ▼



HIGHLIGHTS





LATEST (What's Hot)

EVENTS

ENTERPRISE

AWARDS

Homepage links to





































Wins in Intervarsity Chinese Literature Awards



Gold in ITEX 2017

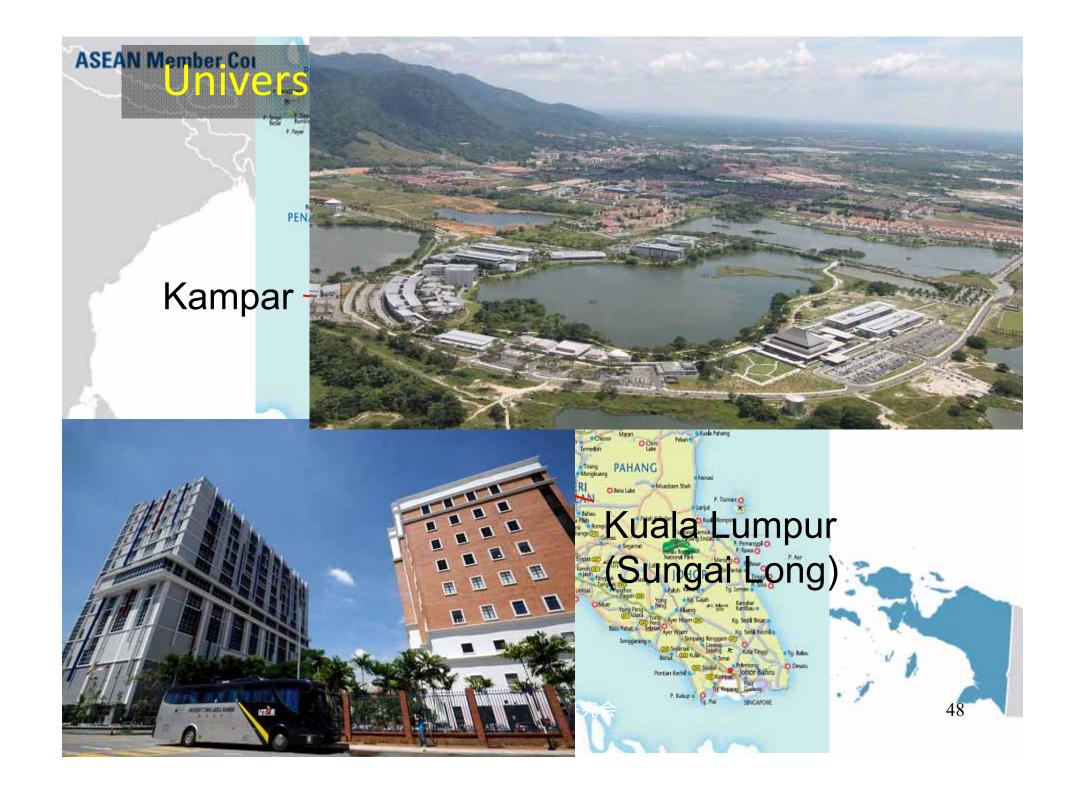


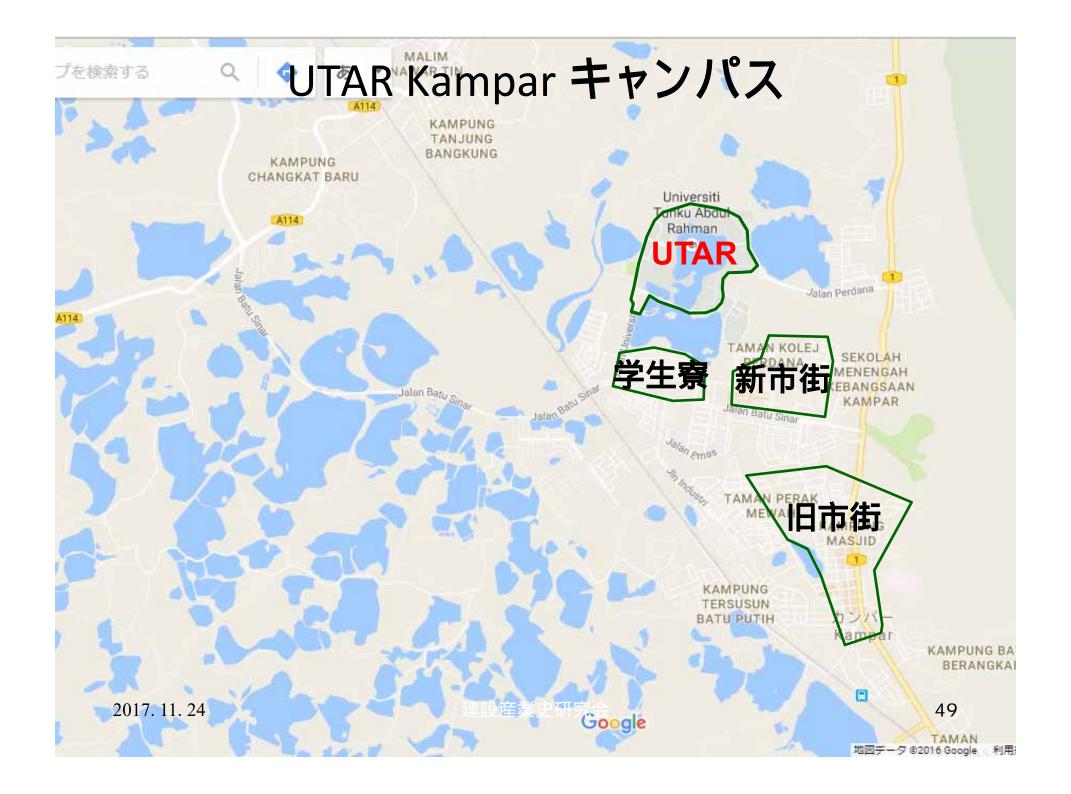
Second in National Chem-E Car Poster Competition

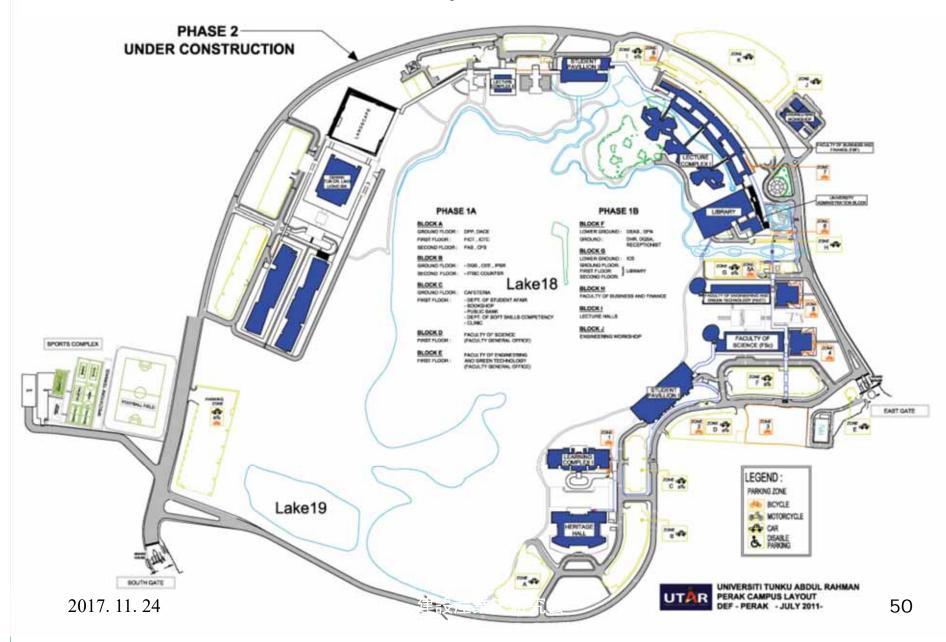


Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR) 経緯

- ◆ 1964年にマレーシア華人協会 (Malaysian Chinese Association (MCA))によって設立されたKolej Tunku Abdul Rahman (KTAR)を母体にしている。
- ◆ 2002年に高等教育省によって大学として認可され、 Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR)となった。
- ◆ 2005年にKampar campus が開校し、幾つかの学部 が新設された。

























3学期制(各学期入学)



Academic Calendar Year 2017[^]

January Intake Bachelor Honours Degree and Postgraduate Programmes	January Intake Foundation Programme	May Intake Bachelor Honours Degree and Postgraduate Programmes	May Intake Foundation Programme	October Intake Bachelor Honours Degree and Postgraduate Programmes	October Intake Foundation Programme
6 Jan 2017 - 28 May 2017	16 Jan 2017 - 28 May 2017				
4 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)	1			
weeks (Exam)	1 week (Exam)	1			
weeks (Break)	4 weeks (Break)	l			
otal 19 weeks	Total 19 weeks			_	
9 May 2017 - 15 Oct 2017	29 May 2017 - 24 Sept 2017	29 May 2017 - 15 Oct 2017	29 May 2017 - 24 Sept 2017	1	
4 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)	l	
weeks (Exam)	1 week (Exam)	3 weeks (Exam)	1 week (Exam)	l	
weeks (Break)	2 weeks (Break)	3 weeks (Break)	2 weeks (Break)	l	
Total 20 weeks	Total 17 weeks	Total 20 weeks	Total 17 weeks	l	
	25 Sept 2017 - 14 Jan 2018		25 Sept 2017 - 14 Jan 2018	1	25 Sept 2017 - 14 Jan 2018
6 Oct 2017 - 14 Jan 2018	12 weeks (Teaching)	16 Oct 2017 - 14 Jan 2018	12 weeks (Teaching)	16 Oct 2017 - 14 Jan 2018	12 weeks (Teaching)
weeks (Teaching)	1 week (Exam)	7 weeks (Teaching)	1 week (Exam)	7 weeks (Teaching)	1 week (Exam)
weeks (Exam)	3 weeks (Break)	3 weeks (Exam)	3 weeks (Break)	3 weeks (Exam)	3 weeks (Break)
weeks (Break)	Total 16 weeks	3 weeks (Break)	Total 16 weeks	3 weeks (Break)	Total 16 weeks
otal 13 weeks		Total 13 weeks		Total 13 weeks	
		15 Jan 2018 - 27 May 2018	15 Jan 2018 - 27 May 2018	15 Jan 2018 - 27 May 2018	15 Jan 2018 - 27 May 2018
		14 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)
		3 weeks (Exam)	1 week (Exam)	3 weeks (Exam)	1 week (Exam)
		2 weeks (Break)	4 weeks (Break)	2 weeks (Break)	4 weeks (Break)
		Total 19 weeks	Total 19 weeks	Total 19 weeks	Total 19 weeks
				28 May 2018 - 14 Oct 2018	28 May 2018 - 23 Sept 2018
				14 weeks (Teaching)	14 weeks (Teaching)
		^subject to change at the discretion of the University		3 weeks (Exam)	1 week (Exam)
				3 weeks (Break)	2 weeks (Break)
				Total 20 weeks	Total 17 weeks

UTARの学生達



授業の合間に

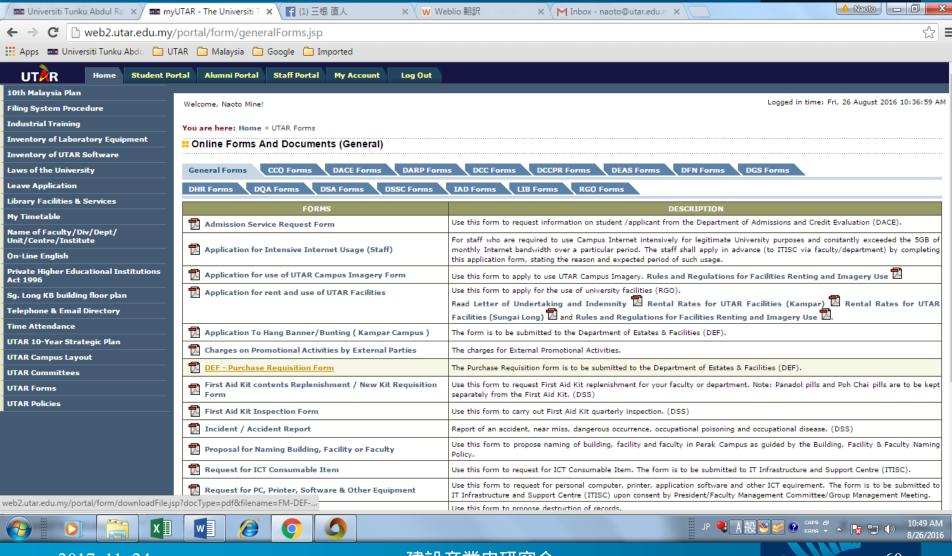




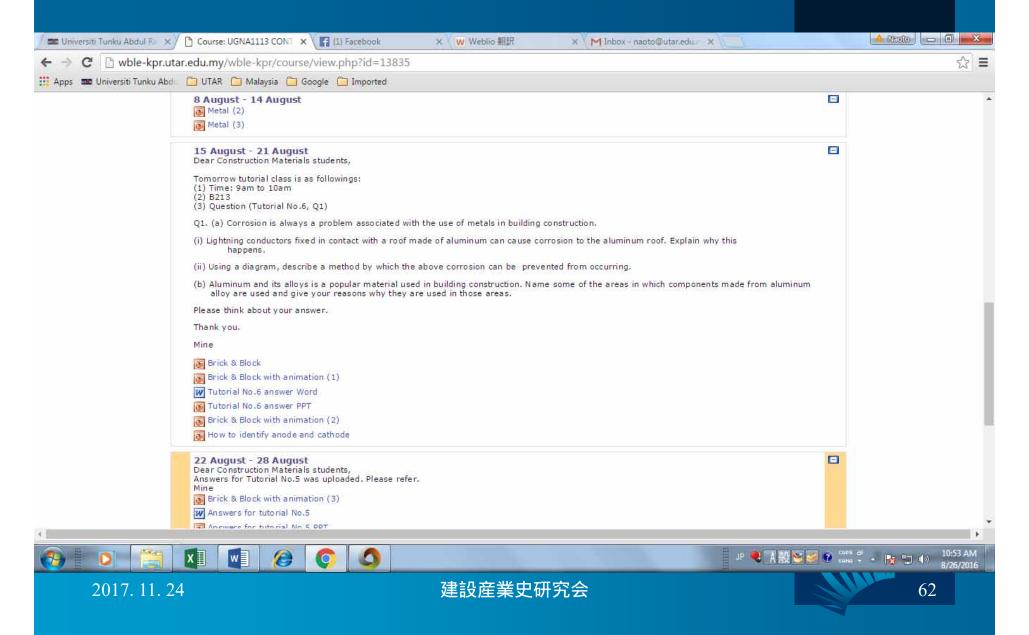
プレゼンテーションの後で

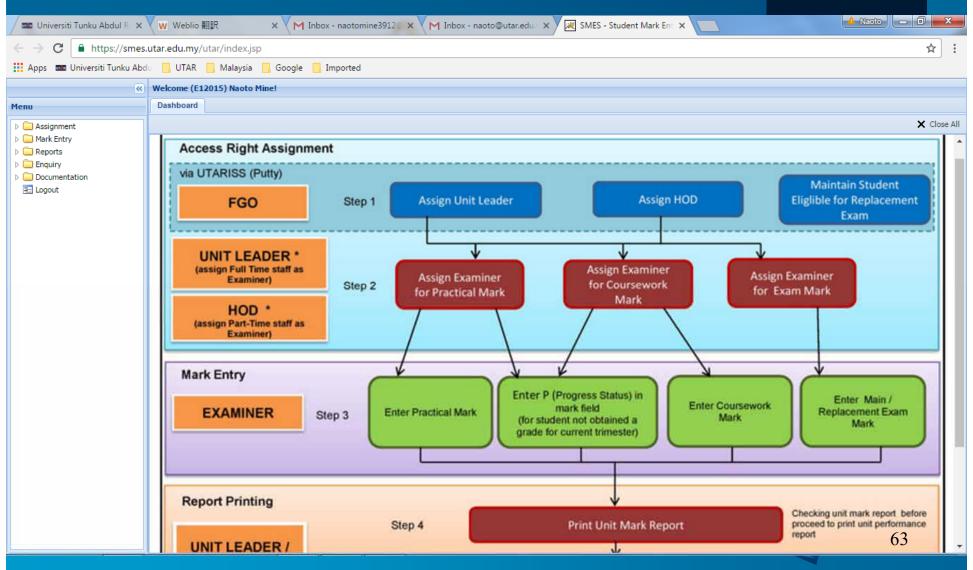


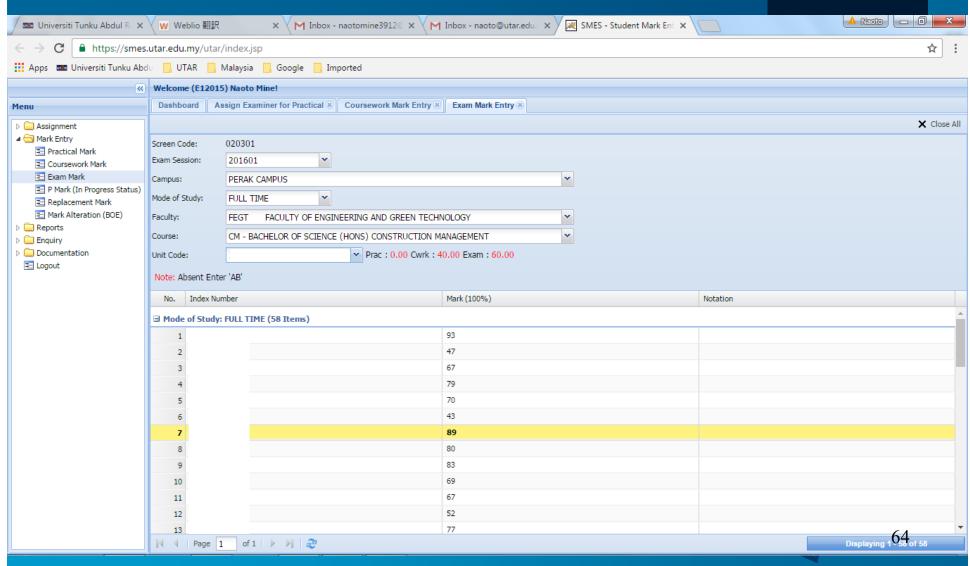


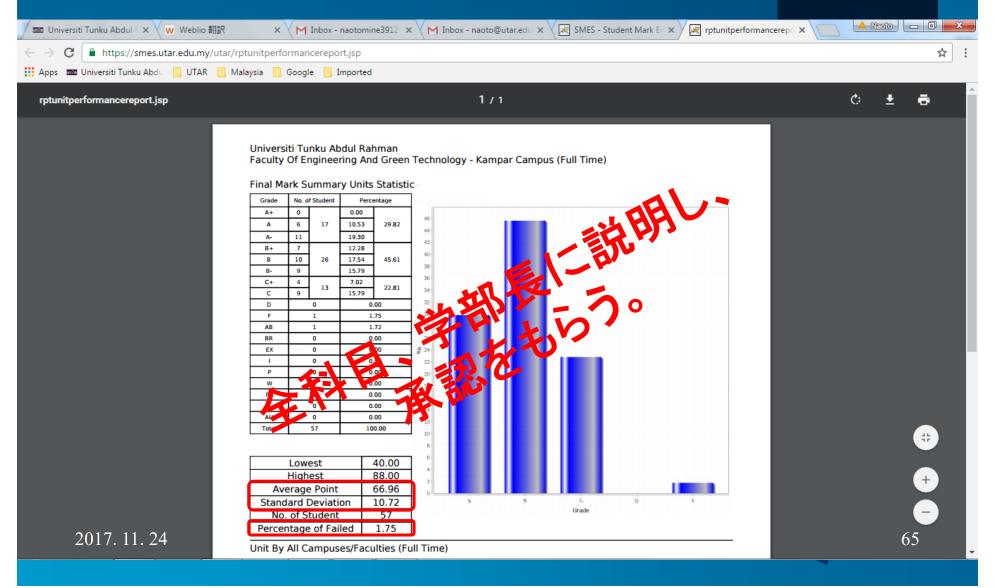


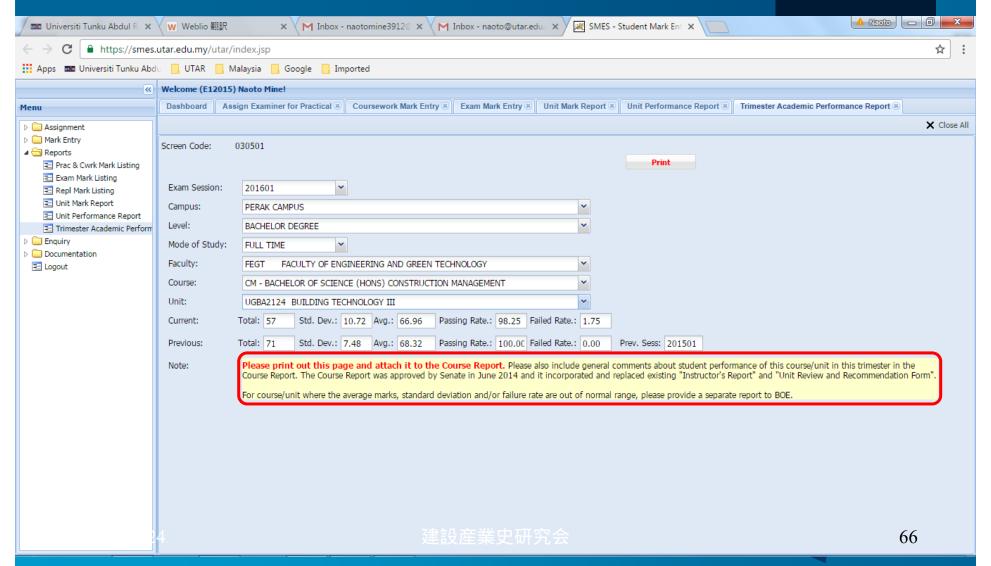














クアラルンプールの現場見ず



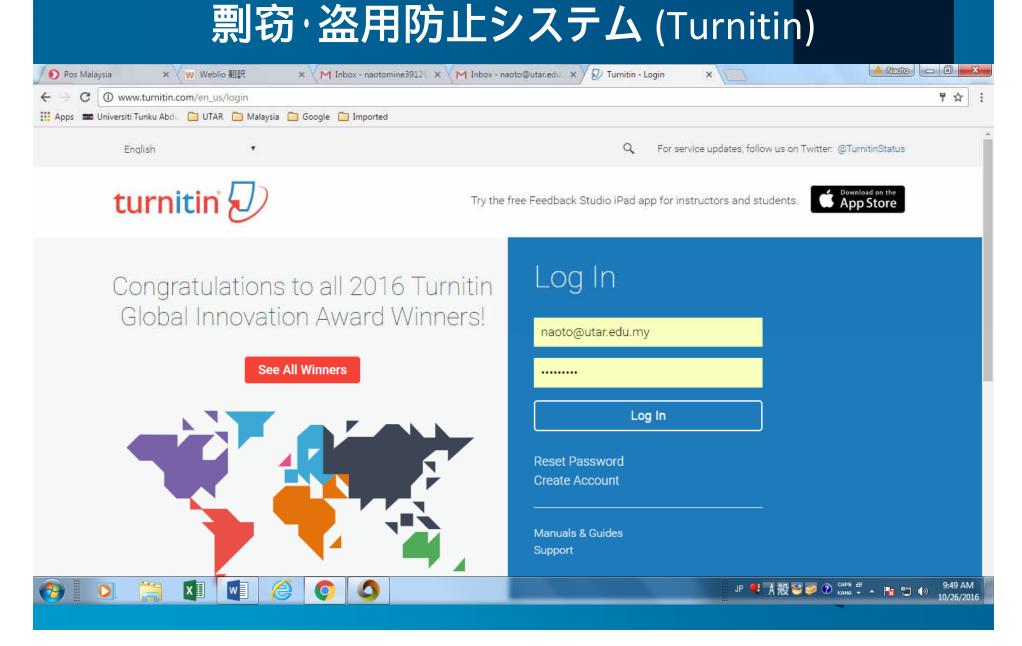




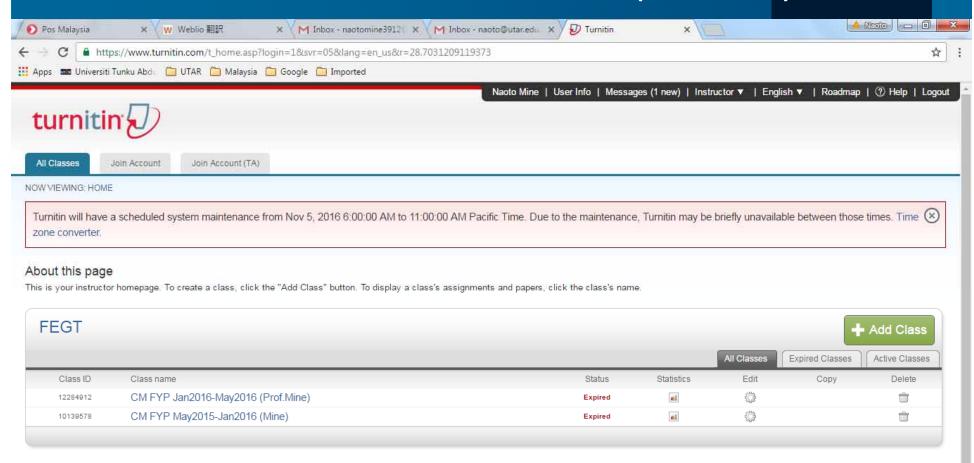
学期最後の講義の後で



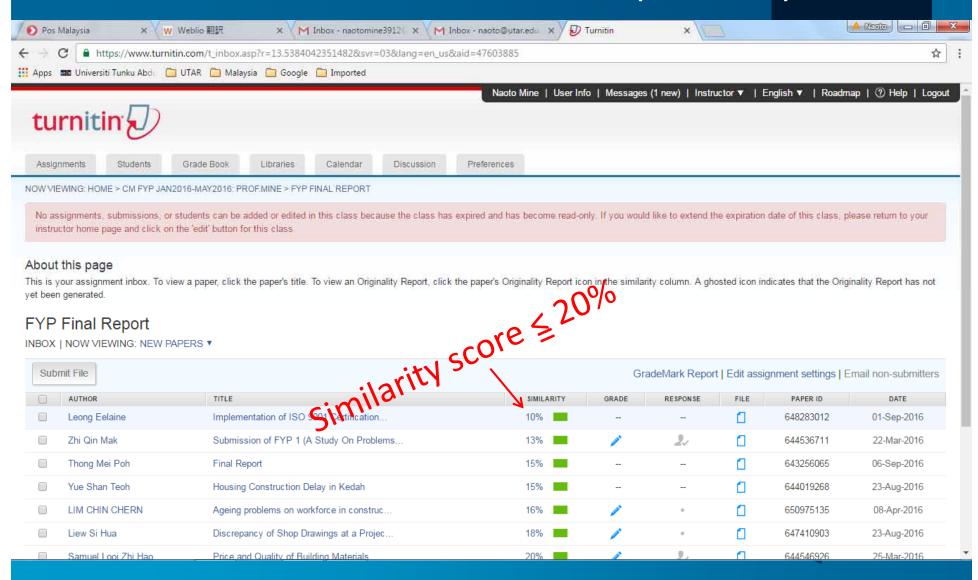




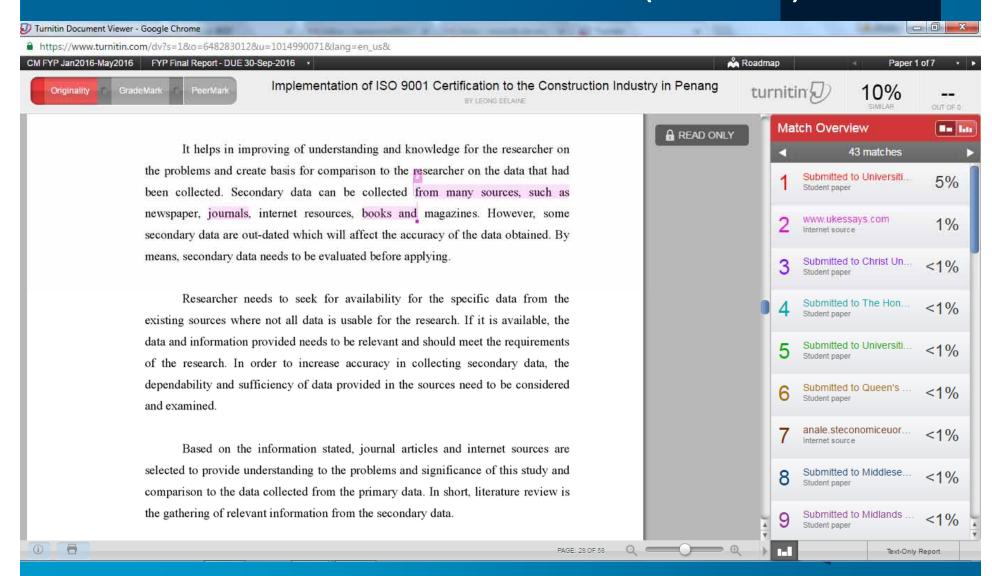
UTARの教育のシステム化 剽窃・盗用防止システム (Turnitin)



UTARの教育のシステム化 剽窃・盗用防止システム (Turnitin)

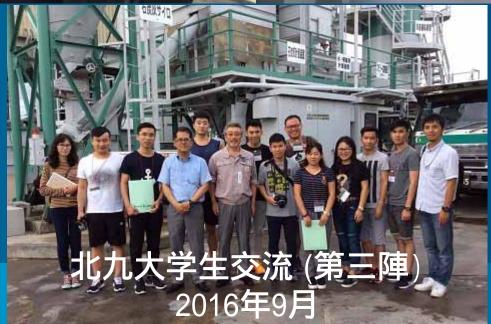


UTARの教育のシステム化 剽窃・盗用防止システム (Turnitin)









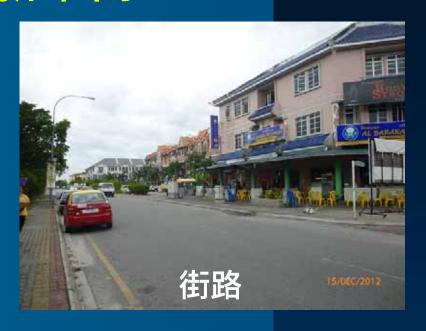






カンパ新市街









カンパ旧市街





























買い物

スーパー・マーケット TESCO





買い物

その他

ナイト・マーケット(水曜) (新市街)



朝市(旧市街)



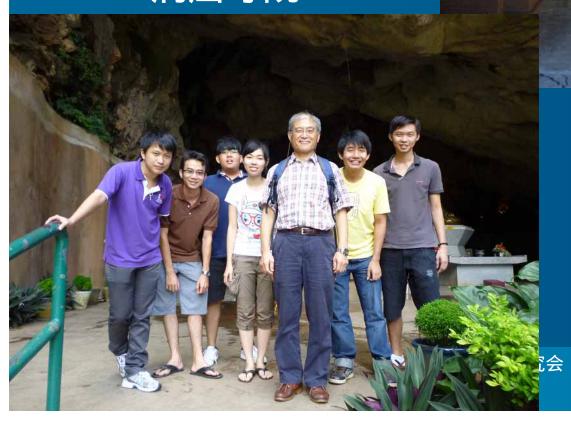
UTARの学生

- 1. マレーシア各地から中華系の学生が集まってくる。
- 2. 良く<mark>勉強する。(Kamparには遊ぶ処がない</mark>)
- 3. 授業中、授業の後で積極的に質問してくる。
- 4. 自分の成績に対しとても敏感。•
- 5. 性格は純朴で人懐こい。



学期間休みにイポーに

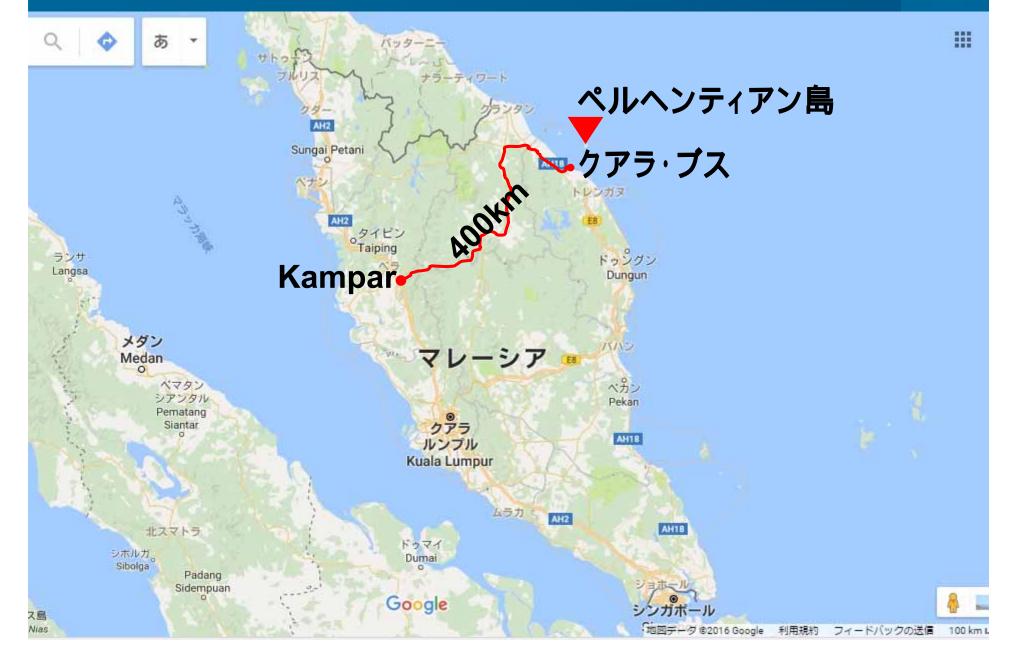
洞窟寺院



洞窟寺院



東海岸の宝石ペルヘンティアン島









プライベート・ビーチ



究会

退職前のイベント

学生とBBQ





退職前のイベン



学科送別会



学部からのプレゼント



冗会

帰国の時 (空港で)

2016.11.20



みんな、ありがとう。







卒業生の家族が来日





KLで卒業生達と 2017.8



MM2H (Malaysia My Second Home Program)

日本人の新しい永住型移転先として、マレーシアは人気がある。



MM2H (Malaysia My Second Home program)

永住型移転先として人気がある理由

- 1. 物価の安さ(日本の1/3程度)、銀行金利高。
- 2. 気候が穏やかで過ごし易く、天災がない。
- 3. 治安が比較的良い。
- 4. 対日感情が良い。
- 5. 社会インフラが比較的整備されている。
- 6. 医療水準が比較的高い。
- 7. 英語が通じる。



MM2H (Malaysia My Second Home program)

MM2Hの利点

- 1. 10年間有効な長期滞在可能なビザ
- 2. マレーシアと国交のある国の人であれば、誰でも申請可能
- 3. 滞在義務なし
- 4. 10年後の更新も可能
- 5. その他



MM2H (Malaysia My Second Home program) 申請の条件

- 1. 資産証明:60万リンギット(1,500万円)
- 2. 収入証明: 10万リンギット(250万円) (60歳以上不要)
- 3. 定期預金:50万リンギット(1,250万円)
- (注) 1リンギット = 25円ビザの申請条件の変更後



大変だったこと:

- 1. 一科目の授業が週に2回(1回が2時間)。
- 2. 期末試験が日本の入試並みに大変。
- 3. 授業が朝8時から夜7時までのこともあった。
- 4. 授業と授業の間の休憩時間がない。
- 5. 鉄道があまり普及していない。
- 6. 電化製品や日用品の品質が悪い。
- 7. 店員に<u>愛想がない。サービス精神がない。貴</u>任感がない。

良かったこと:

- 1. 職場が<mark>田舎だったので、ゆったりと過ごせた。</mark>
- 2. 皆、親切で人懐こい。
- 3. 物価が安い。
- 4. **道路幅が広く、駐車スペース**もゆったりしている。
- 5. トロピカルフルーツが豊富で安い。
- 6. 土日でも市場が営業している。
- 7. 気候が温暖で寒くない。



勉強になったこと:

- 1. 大学業務の色々なことがWebでシステム化されている。(授業関係、事務手続き等)
- 2. 学科の資格審査が厳密に行われている。
- 3. 学期の終わりに<mark>授業の資料等</mark>をまとめて整理して おく。フォーマットが決まっている。
- 4. 学生は下手でも英語を使う。
- 5. 論文の投稿等が世界標準に従って行われている。 Scopus journal list, Thomson Reuters Master Journal List

勉強になったこと:

- 6. 研究論文は英語で書かないと、仲々引用してもらえない。
- 7. 業務成果の評価が日本に比べてフェアでオープン。(学生評価の結果も反映される)
- 8. インターンシップが義務化されていて、受入れ企業 業も当然のように受入れてくれる。(3ヶ月)
- 9. 小さな事に拘らず、ゆったりと人生を楽しむ。

最後の最後に・・・。

患っていたよりセンスがいい!

